PRESS RELEASE

国立大学法人 長崎大学 NAGASAKI UNIVERSITY

2026 年 6 月 8 日

報道機関　各位

RECNA 叢書 9
『核なき北東アジアに向けて：非核兵器地帯の可能性』
刊行のお知らせ

このたび、長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）では、RECNA 叢書 9 として、『核なき北東アジアに向けて：非核兵器地帯の可能性』（グレゴリー・カラーキー、徐載晶、鈴木達治郎、中村桂子編著）を地平社より刊行いたしました。

本書は、2025 年に英国の大手学術出版社 Routledge から刊行された『Nuclear-Weapon-Free Zone as a Vehicle for Change』の日本語版です。2016 年に始動した「北東アジアの平和と安全保障に関するパネル（PSNA）」の第 2 期の研究成果をもとに、米国、韓国、モンゴル、オーストラリア、日本の専門家が、緊迫する国際情勢のなかで、核兵器の威嚇に依存しない安全保障をいかに構築しうるのかを多角的に論じています。

北東アジアでは、核兵器への依存と軍事的緊張が高まる一方で、対話と信頼醸成の糸口をどのように見いだすかが喫緊の課題となっています。本書は、北東アジア非核兵器地帯構想を、地域の安全保障を変革するための実践的な枠組みとして検討したものです。

【本書概要】

■編著者：グレゴリー・カラーキー、中村桂子、徐載晶、鈴木達治郎
■タイトル：『核なき北東アジアに向けて――非核兵器地帯の可能性』　¥4,400 (税込)
■発売日：2026 年 3 月

詳しい内容については、以下の二次元バーコードから、地平社のウェブサイトをご参照ください。
https://chiheisha.co.jp/2026/03/13/978-4-911256-31-2/

取材をご希望の方は下記問い合わせ先までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

【本リリースに関するお問い合わせ先】
長崎大学核兵器廃絶研究センター事務室
TEL：095 -819-2164　E-mail：recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp